



生徒会執行部の発案により
毎週全校生徒で校歌斉唱
(邑久中学校)



議案質疑……………2～4
錦海塩田跡地活用
特別委員会等……………5
16人が市政を質す
一般質問……………6～14
視察報告……………15
地域のかがやき等
……………16

★地域のかがやき★

地域の写真を市民のみなさんから
も募集します



お抹茶教室 (今城保育園)



海苔生産最盛期 (鹿忍地区子父雁)



お飾りづくり (磯上ふれあいプラザ)



瀬戸内市長杯争奪学童軟式野球大会

次回定例会の予定 (インターネット中継のある日)

2月24日(月)本会議 9:30～

4日(火)本会議 9:30～ 一般質問

28日(金)本会議 9:30～ 一般質問

5日(水)本会議 9:30～

3月 3日(月)本会議 9:30～ 一般質問

20日(木)本会議 9:30～

お気軽に傍聴してください。(都合により、日程が変更となる場合もあります。)

編集後記

2014年がはじまりました。
今年は、旧3町が合併して瀬戸内市となり10年の節目の年があります。その節目の年に当たる今年、市民病院、中央図書館の新設、また錦海塩田跡地活用として、メガソーラー事業等、市の今後の財政にも大きく影響を及ぼすような大型事業が、いよいよ進みだそうとしています。今こそ私たちは、議会人として、また議会広報委員として、市民の皆さんに、議会で審議された事項をリアルにお伝えしなくてはならないと、心新たにしているところであります。
一人でも多くの方に、この議会だよりを読んでいただければ、また今年午年が市民の皆さんにとって、すばらしい飛躍の年になりますことをご祈念申し上げます。

原野

●お問い合わせは議会事務局 (0869)22-0979までお願いします。

E-メールアドレス gikaijimu@city.setouchi.lg.jp

瀬戸内市議会ホームページアドレス <http://www.city.setouchi.lg.jp/~gikai>

インターネット
中継はここ
らから

この市議会だよりは
再生紙を使用しています

一般会計補正予算 など49議案を可決

新病院の設計変更に

2千900万円

9月議会では、資材や労務費の高騰で、新病院建設費が大幅に増額となったため、設計CM業者に、建設費を抑制することを委託する予算を可決した。

今議会では、設計CMの提案を受け、実施設計を変更するための予算2千900万円が計上された。あわせて、経営面での見直しが行われた。

新計画では、一般病棟50床、療養病棟30床、回復期病棟30床にすること、初期投資額を41億円から36億円に抑制したこと、健診棟・保育棟の整備を4年延期したこと等が示された。

〈質疑〉

問 設計変更の詳細は。

答 3階部分は、器械設備を残し、リハビリスペースを2階へ移動した。職員食堂は取りやめた。

問 将来3階も利用できる形で、柱を残す考えはなかったのか。

答 建築費の減額を優先したため、将来の3階の活用は考えなかった。

問 市長は7月に「建設中止」を含めて検討すると発言した。今回建設続行を決断した理由は。

答 計画を見直す中で、病床組み合わせの変更による収入増、初期投資の圧縮によって収支に見合った経営ができると判断した。

〈討論〉

反対

当初から、設計CMに委託すべきであった。この時期に委託し、建築面積を縮小することで建設費を削減し、実施設計変更のために2千900万円が使われることに納得がいかない。

賛成

29億円にまでふくれあがった建設費が設計業者との協議で3億円を削減。さらに設計CMを入れたことで3億円が削減できた。

また、造成予算等も含まれており、可決すべきである。

※設計CM

建築主の立場になって建築工事のコストダウンや品質改善に取り組むサービス

モーモーバス3カ月延長

426万円

平成24年7月から平成25年12月まで、牛窓地域で実証運行したモーモーバスを3カ月延長するため、426万円が計上された。

本格運行を実施するかどうかの判断基準を、1日平均利用者30人以上とし、利用実態の分析と費用対効果の検証を行う。

問 1日の利用者を30人とすると、市の負担が1人あたり1千円となる。高齢者の生活交通の足を確保する福祉施策の観点から積算し、30人を判断基準とした。

答 実証運行の結果をどう生かすのか。

答 牛窓地域だけではなく、瀬戸内市として一番いい市民の足の確保を考えていく。



問 これまでの実証運行の結果は。

答 今年10月までで平均12・8人。

問 1日の利用者の目標を30人以上とした根拠は。

くみ取り手数料20円値上げ

し尿くみ取り手数料、10リットルあたり20円値上げの料金改定に関する条例案が上程され、賛成多数で可決した。

〈質疑〉

問 値上げの理由は。

答 下水道整備の進展や合併浄化槽の普及などにより、くみ取り量が減少している。また、収集車の燃料代が高騰しているためである。

〈討論〉

反対

問 近隣の市町との状況は。

答 現在、県下で最低水準の手数料である。今回の値上げによって、県下の平均水準になる。

下水道整備地域と未整備地域の格差は正の検討がなされていない。手数料改定は、格差は正の議論をする中で、適正な料金改定を考えるべき。

ごみ看板などに

163万円

ものか。

家庭ごみ分別マニユアルを配布する。50音順に品目別で分別方法を掲載した冊子である。

国民健康保険税・介護保険料の納期回数を年6回から年8回に変更するという条例改正案が上程され、全会一致で可決した。

平成26年4月からごみ分別の変更を予定している。ごみステーションに掲示する看板作成に125万円、全戸に配布する印刷物作成に38万円が計上された。

〈質 疑〉

問 ごみステーションの数と看板の作成数は。

答 ステーションは市内に543カ所、作成枚数は600枚である。

問 全戸に配布する印刷物はどんな



分別マニュアル

問 分別変更を市民へ周知するのはどのように行うのか。

答 環境衛生委員を対象に説明会を行い、さらに広報紙とホームページで周知する。

〈質 疑〉

問 変更によって、支払いやすくなるのか。

答 1回の支払い額が少なくなるので、払いやすくなると考えている。

問 事務経費は増えないのか。

答 納付書、督促状などの郵便代、口座手数料などの増加はあるが、仮算定分の経費がなくなるので、必要経費の総額は削減できると試算している。

国保税・

介護保険料の

納期回数変更

請願審査

消費税の複数税率導入と新聞への軽減税率適用に関する請願

採 択

介護職員の処遇改善を求める請願書

趣旨採 択

安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める請願書

趣旨採 択

議員発議

揮発油税及び地方道路路税の消費税非課税を求める意見書の提出について

否 決

新聞への消費税軽減税率適用を求める意見書の提出について

可 決

合併算定替終了後の新たな財政支援措置を求める国への意見書の提出について

可 決

錦海塩田跡地活用事業

進捗状況

錦海塩田跡地においては、市の基本計画に基づき、事業者に土地を貸し付け、メガソーラー事業を施行する計画が進んでいる。

11月14日、錦海塩田跡地活用特別委員会を開催し、メガソーラー事業について説明を求め、調査した。

主な調査内容は、事業者と市が契約する施行協定の中身で、今回その概要が明らかとなった。

① 初期投資計画事業費約793億円。

② 土地貸付料として、工事期間中の5年は、年間1億円。その後の売電期間の20年は、年間4億円とすることが示された。

③ 事業者が約27億円の工事費で堤防の補強等を行い、それを市に寄附する。

④ 中国電力への送電は、西大寺変電所へ接続する施工計画が示された。また、送電線は、工期の関係から鉄塔を新設するのではなく、県道、市道等に埋設する工法が示された。

⑤ 事業者と市が結ぶ施行協定の内容は、議会の特別委員会に示した後、平成25年度中に結び、事業着手は平成26年度の予定である。

平成24年度一般会計歳入歳出決算認定

平成25年第7回（11月）定例会 賛否の公表（決算） ○＝賛成 ●＝反対 欠＝欠席 ―＝議長職（議長は採決に加わりません）

議 案 名		議決 年月日	採決結果	公明党 瀬戸内市議員		日本共産党 瀬戸内市議員		せとうち クラブ		瀬戸内市民の会					改革		(無会派)					賛 成	反 対	
				河 本 裕 志	高 間 直 美	島 津 幸 枝	厚 東 晃 央	石 原 芳 高	中 村 勝 行	平 原 順 二	馬 場 政 教	原 野 健 一	竹 原 幹 一	川 野 泰 一	日 下 俊 子	廣 田 均	日 下 敏 久	小 谷 和 志	角 口 準 一	布 野 浩 子	森 俊 之			小 野 田 光
認定第1号	平成24年度瀬戸内市一般会計歳入歳出決算認定について	H25.11.28	認 定	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	2
認定第2号	平成24年度瀬戸内市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	H25.11.28	認 定	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	2
認定第13号	平成24年度瀬戸内市病院事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	H25.11.28	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18	1

* 認定第3号～第12号および第14号は全会一致で認定

認定第1号および第2号に対する反対討論

財政安定化支援事業分の一般会計繰り入れが、1円も行われなかったことに反対する。合併後2億円もの基準額の繰り入れが行われず、他の事業にあてられている。他市町村のように、国保会計に繰り入れていれば、国保税の引下げが可能だったのではないかと。

認定第13号に対する反対討論

地方独立行政法人に移行するための委託料を23年度1,500万円、24年度500万円を支出しているが、独法化移行が先送りされたことにより、2,000万円が効率的に執行されたとは言えない。独法化に反対したから決算を認めないというのではない。市民病院運営の根幹が大きくぶれてきたこと、将来展望が描けないまま建設計画が進んでいることを危惧する。

一般質問

竹原 幹

1. 中期財政計画について
2. 稲作農家の将来像について

日下 敏久

1. 格差のない市政（安全・安心）について
2. インフラ施設（市内道路・河川整備）の耐震対策について
3. JR3駅周辺の整備について
4. 公用車について
5. コンサルタント業務について

森 俊之

1. 合併浄化槽への市独自上乗せ補助の継続について
2. モーバスについて
3. 観光行政について
4. 退職手当及び岡山市町村総合事務組合について

川野 泰一

1. 玉津港の遊漁船係留場所の整備について
2. 教育問題について

日下 俊子

1. 有害鳥獣対策について
2. 図書館（室）、公民館行政について

厚東 晃史

1. 地域交通（市民の足）の充実について
2. 錦海塩田跡地活用計画について
3. 国民健康保険税について

島津 幸枝

1. 発達障がい児・者支援施策について
2. 中期財政計画について

高間 直美

1. DV（ドメスティックバイオレンス）被害者の救済について
2. 認知症対策について

廣田 均

1. 中期財政計画について
2. 新副市長の決意について
3. 子育て支援について
4. 鹿忍塩田跡地浸水について
5. 危機管理指針について
6. 不育治療助成について

布野 浩子

1. 子どもにかかわる諸問題について
2. 合併10周年について
3. ふるさと納税について

小谷 和志

1. 公共施設について
2. 災害対策について

室崎 陸海

1. 行政改革と経済対策について
2. 職員人事について
3. 錦海塩田跡地活用事業について

石原 芳高

1. 教育委員会存在意義について
2. 職員の存在意義について
3. 錦海塩田跡地活用事業について

原野 健一

1. 第6次産業について
2. 県への要望について
3. 会社名入り防犯灯について

河本 裕志

1. 消費者行政について
2. コンビニ収納について
3. 空き家対策について

竹原 幹

問 財政運営適正化計画は実行できるのか

答 今年の中期財政計画は、適正化計画を実施しても、平成34年度で約6億円の不足額が見込まれている。適正化計画として取り組むのは、各種団体補助金の見直し、単市医療給付事業の見直し、ごみ袋の値上げ、保育料の値上げなど、市民生活に直結した事業ばかりだが、これら計画は実行できるのか。

問 今年の中期財政計画は、適正化計画を実施しても、平成34年度で約6億円の不足額が見込まれている。

問 適正化計画として取り組むのは、各種団体補助金の見直し、単市医療給付事業の見直し、ごみ袋の値上げ、保育料の値上げなど、市民生活に直結した事業ばかりだが、これら計画は実行できるのか。

問 邑久地域と長船地域の人は、岡山市東区の西大寺斎場を利用している。

問 その西大寺斎場が、現地建て替えは困難との方針から、岡山市と広域で建設する協議が始まったと聞く。しかし、中期財政計画から削られているが建設しないのか。

市 長

岡山市との協議が整えば、盛り込んでいく。

問 農業を続けたくても続けられない、零細農家への対応策は、

産業建設部長

小規模な農業者の農地を、今後担い手に集約して、農業経営していくことは重要な課題であると認識している。



現地建て替えは困難との方針が出された西大寺斎場

日下 敏久

問 合併後10年、庁舎統合の計画は

答 今後も協議をしていきたい

問 J A旧邑久町跡地を取得して庁舎統合や、J A旧福田支所跡地に保育園駐車場や支援センターに活用する考えは。

総合政策部参与

駅周辺整備の財源が確保できるよう引き続き検討していきたい。

市 長

整備を進めていく上で魅力のある場所だが、今後金額の問題等J Aと協議していきたい。

問 公用車の買いかえ状況と市保有マイクロスバスの排ガス規制への適合は。

総務部長

稼働状況や修繕履歴等を考慮し優先順位を決め買いかえている。

産業建設部長

問 コンサルタント業務の依頼はどのような形でやっているのか。

マイクロスバスは道路運送法に従い運用していきたい。

市で業務委託設計書を作り、契約規則によって指名競争入札、あるいは随契で業者を決めて発注している。

平原 順二

問 観光行政にもっと力を入れては

答 職員のマンパワーで期待に応えたい

問 26年1月からNHK大河ドラマ「軍師官兵衛」が始まる。瀬戸内市の観光宣伝に地元福岡地区では頑張っている。行政の後押しが今一つと思われているがいかがか。

問 下水道事業をこのまま進めて市の財政は大丈夫なのか。合併浄化槽への推進としては。

市 長

現在示している下水道の整備区域をどのようにするのか、市民の

市民生活部長

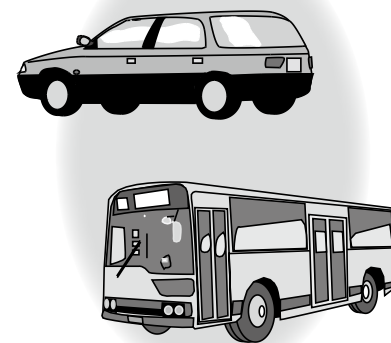
今後国、県の補助制度がある限り、下水道部門との連携を図りながら、下水道整備計画区域外での浄化槽の推進を進めていく。

問 牛窓診療所の今後

病院事業部長

現状のままでの使用では維持管理費がかかりすぎるため、市民の安全・安心を第一に移転、本院への統合も含め検討していきたい。

問 日常の利用者や観光客に愛されるJR駅周辺整備を。



備前福岡官兵衛くん

森 俊之

問 小グループ観光客への対応強化は

答 JRとの連携強化、HPの充実を図る

問 下水道接続世帯と合併浄化槽設置世帯への公費投入に5倍の差があり、合併浄化槽への上乘せ補助は継続すべきでは。

市民生活部長

公費投入に大きな差があるのは事実だが、市全般の厳しい財政状況の中、予定どおり本年度で廃止と考えている。

問 モーモীবサスの実証運行終了が近いが、利用人数の増加策だけでなく、料金・運用形態の変更も含めて幅広い検討をすべきでは。

総合政策部参与

実証運行の結果を踏まえて、現運行でよいのか、路線バスの増便、タクシ一の助成も含めて、地域に合った公共交通のあり方を今後検討する。

問 退職金支払い準備等のために岡山県市町村総合事務組合に加入しているが、当市の退職金分としての積立残高はいくらか。また、それはどこに属するのか。

総務部長

8億9千万円あり、総合事務組合に属する。

問 同会には互助会機能もあるが、高負担(市0.5%、職員1%)高福祉で見直すべきでは。

総務部長

職員からの不満の声は聞いていないが、同組合に意見として伝えたい。



仙台市内巡回観光バス

川野 泰一

問 玉津港に遊漁船の係留場所を整備しては

答 土地利用計画の中で十分協議し検討する

問 玉津港の遊漁船の係留場所は、市の所有となっており、整備してはどうか。

総務部長

地目は雑種地であり、土地利用計画は定まっていがないが、十分協議しながら検討していきたい。

副市長

現状を生かしながら、玉津港がどうあるべきか地元漁協とも協議しながら、今後のまちづくりの中で考えていく。

問 青少年健全育成推進大会をどう評価しているのか。

教育長

市民総ぐるみで取り組む重要な大会であると認識している。今後とも、教育委員会としては、充実させる方向で進めていきたい。

問 玉津小学校跡地はどうか活用していくのか。

教育次長

すぐに実行に移せる提案はないが、引き続き関係部署と連携しながら、協議、検討を進めていきたい。

問 体験型学習を進めるとしているが成果は。

教育長

今年度、行幸小学校をモデル校として授業の中に体験的な手法を取り入れ、成果が出た。授業の改善、指導力の向上に期待したい。



玉津港の係留場

日下 俊子

問 有害鳥獣に対する一刻も早い対応を

答 駆除のPR活動等対策を進める

問 鹿・イノシシといった有害鳥獣の被害が年々増え続けている。住民は農作物の被害だけでなく、遭遇の危険にもおびえている。一刻も早い行政の対応が望まれるがどうか。

産業建設部長

農作物被害を防止するための防護柵に対する補助や、有害鳥獣駆除班に対する助成を行っている。新しい狩猟者の育成の重要性を認識しており、駆除のPR活動等対策を進めていきたい。他市の取り組みについても、研究していく。

問 現在中央図書館の建設が予定されているが、牛窓・邑久・長船の図書館、公民館

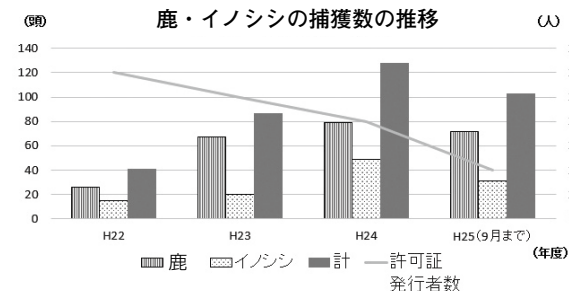
行政の今後を問う。

教育長

長船町公民館の耐震は6千800万円、牛窓町公民館は4千600万円が必要。現在、市全体の公共施設の再編方針を策定中。長船の図書室については、牛窓町公民館図書室並

市長

いただいたご意見も検討材料として、よりよく図書館サービスを提供できるよう努める。



年度	H22	H23	H24	H25(9月まで)
鹿	26	67	79	72
イノシシ	15	20	49	31
計	41	87	128	103
許可証発行者数	25	24	23	21

厚東 晃央

問 公共交通の充実をするときではないか

答 26年度に検討結果を反映していきたい

問 これまで、合併前の旧長船町では巡回バスを試行し、現在牛窓地域では、モーモীবサスを試行している。

市内全域の方を対象とした移動手段を充実することは重要である。具体的提案をするべきではないか。

総合政策部参与

路線バスの増便で対応できるところ、交通事情不利地域として助成金が必要なところ、タクシー補助など手法はさまざまである。財政的なことも含めて慎重に検討していく。

市長

26年度予算に反映するようにしていきたい。



モーモীবサス

総合政策部参与

利用者がなかなか伸びないのは、モーモীবサスが市民のニーズにあったものではないからと考える。邑久地域の中心部(市役所や市民病院など)に行けるように変えていくべきではないか。

モーモীবサスの目的は、牛窓地域内で人、物、金が循環するのも目的のひとつでもあるため、現時点で変更する考えはない。消防本部で路線バスに乗り換えて、邑久地域の中心部まで行くことなど、しっかりPRして、利用者増加に取り組んでいく。

小谷 和志

問 文化施設の今後は

答 持続可能な方策を考える

問 長船町公民館等、文化施設の耐震がなされていないが、今後の計画は。

教育長

今後、公共施設のあり方の中で、公民館も持続可能なものとするための方策を考える。

問 大雨、高潮時に浸水している地域の対策は。

産業建設部長

市の沿岸部である地区（低地帯）では、常設の樋門や排水ポンプの操作、それに加えて応急仮設ポンプを設置し、対策を行っている。鹿忍地区については中海のしゅんせつを県に要望している。



豪雨により氾濫した小向川（25年9月）

また、小向川の改修等も取り組んでいきたい。

長船町飯井地区内の千田川で越流するおそれがある箇所は、県に改修の要望をしており、国に対しても、千田川の排水機場ポンプの増設を要望している。

室崎 陸海

問 行政改革と経済対策について

答 自覚を持って市政運営に努める

問 公共施設の今後は遊休未利用地の適切な処分貸し付けだけでなく、新たな有効活用は考えないのか。

市長

公共施設440棟のスリム化を含め検討している。今年度から2カ年で再編方針を策定していく。

問 定数の削減や給与カットで職員の気持ちに疲弊し、行政改革にブレーキがかからないか。また大規模な箱物建設は適正であるか。

市長

職員の定数削減・給与カットは28年度から32年度までの5年間限

定であり、賞罰については基準に沿った形でやっていく。大型の箱物については税収の増加、人口増加、費用対効果、公共サービスのために必要と考えている。

問 優良企業の誘致による税収及び雇用の確保について、どのような業種、業態の会社を捉え検討しているのか。

市長

農村地域工業等導入促進法に基いて製造業、運送業、倉庫業、梱包業等に限定している。

問 農水産ブランドづくりの対応と経済対策は、行政と選考委



瀬戸内市の特産品

員会の指導と全面協力が必須だがいかがか。

市長

市として積極的にブランド化に向けて開発を検討していく。

石原 芳高

問 教育委員会制度の見直しについて

答 分かりやすい仕組みに改善は必要

問 国の中央審議会で、教育委員会の制度を見直すことが検討されている。また、制度そのものが形骸化しているのではないかと懸念もある。教育長の所見を問う。

教育長

先般、教育委員会制度改革に関する中間報告がまとまったところである。教育長を地方教育行政の責任者と位置づけ、首長に任命権を与えることを明記している。

今後、国の動向に注視していくが、分かりやすい仕組みに改善していくことは必要であると考えている。教育委員会では、様々な質問や提言を受



メガソーラー事業が計画されている錦海塩田跡地

問 メガソーラー事業の本格的な運用に向けて、市としての対応は。

今からでも視察などの受け入れや、観光振興などの施策を考えるべきでは。

副市長

対応の中心として考えているのは、地域の活性化である。経済効果も非常に大きいと考えており、今後、十分な体制をとっていかうと考えている。

原野 健一

問 企業名入り防犯灯の球切れ対応は

答 企業と市の費用負担割合など検討

問 企業名入り防犯灯「スポンサー灯」の球切れ箇所が大変多く、暗闇状態の道路もある。自転車での通学生などの安全面を危惧するが、市の対応はどうなっているのか。

危機管理部長

現在、スポンサー灯の球切れについては、



球切れしたスポンサー灯とやむを得ず市費により設置された水銀灯

問 財政負担の軽減面からも、新しいス

市からスポンサーに対し、球切れである旨を連絡している。しかし、社会情勢の変化により、廃止の申し出が年々多くなり、それらを撤去し、新たに市の名義で水銀灯を管理しているのが現状である。

ポンサーを募ってはどうか。

危機管理部長

新たなスポンサー灯については、費用負担に関する条件などを再検討し、増設に向けて考えていきたい。

問 今、国の政策の動向により、第1次産業も一変しようとしている。生産、加工、販売まで、農林水産業者自らが、6次産業化を考えている。

産業建設部長

市として、全力で援助するべきではないか。6次産業化に向けては、相談体制、環境整備を今まで以上に整えていきたい。

河本 裕志

問 市として空き家条例を制定しないのか

答 関係課を連携させながら取り組んでいく

問 市民から、老朽化した建物(空き家)が、何とかならないかと要望がある。市に空き家は、どのくらいあるのか。

総合政策部参与

平成20年の住宅土地統計調査によると、約14%、2060軒という結果がでている。

問 国交省は、空き家の想定される問題を防災性の低下、火災発生のおそれ、防犯性の低下、犯罪の誘発、ごみの不法投棄、衛生の悪化、悪臭の発生等と発表している。

270以上の公共団体が条例を作って規制をかけている。条例を制定しないのか。

市長

条例は、個人の権利を制限する可能性があり、さまざまな議論がある。

十分に研究して情報収集をし、私自身が先頭に立って作っていきたい。

問 消費者行政について、今後どのようにするの。

市長

基本的には県と連携しながら、今後もより一層推進をしていく必要がある。

悪質商法を排除して、市民の皆様が安全に安心して暮らせる地域社会を目指していく。



視察報告
10月21日~22日

総務文教常任委員会

視察先 千葉県習志野市

目的 秋津小学校のコミュニティ・スクール

市立秋津小学校は、学校と公民館の機能を学校の敷地内に併せ持っている小学校である。公民館活動で大人たちが学校に足を運ぶことにより、子どもたちは、地域の大人と当たり前のように触れ合う仕組みになっている。地域と子どもたちの関係はとても良好だと教頭先生から聞き、地域で子育てをするヒントになった。

視察先 千葉県袖ヶ浦市

目的 地域防災計画

東日本大震災の経験を生かし、積極的に地域の避難訓練に取り組んでいる。当市でも被災を想定した避難訓練の必要性を感じた。

視察報告
11月5日~6日

環境福祉常任委員会

視察先 福岡県大牟田市

目的 地域認知症ケアコミュニティ推進事業

大牟田市では、小規模多機能型居宅介護事業所の隣に、地域交流施設を併設し、認知症コーデイネーターの育成、認知症の本人や家族を地域でサポートしている。当市においても既存の施設で推進する必要性を感じた。

視察先 熊本県宇城市

目的 子育て支援事業

宇城市では、近隣の市町と協議会を設立し、子育て支援センターを運営している。情報交換のほか共同でイベント等を実施している。また、子育てに関する分かりやすいガイドを作成し、子育て世代に喜ばれている。当市としても子どもの成長に応じた支援ができるよう調査研究する。

視察報告
11月5日~6日

産業建設水道常任委員会

視察先 京都府与謝野町

目的 中小企業振興

与謝野町は、地域産業活性化を目的に、住民参画により「中小企業振興条例」を制定している。

住民や経営者の参画のもとに総合計画や産業振興ビジョンが策定されており、中小企業振興条例の果たす役割が大きいことを実感できた。

視察先 滋賀県長浜市

目的 観光施策

長浜市も当市同様、黒田官兵衛ゆかりのまちである。NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」放映にあわせ、「黒田官兵衛博覧会」の開催を予定している。その他にも、市に存在するあらゆる歴史に付加価値をつけ、観光行政と結びつけている点で、観光戦略の熱意を感じさせられた。

視察報告
10月28日~29日

議会運営委員会

視察先 愛知県愛西市

目的 審議会等各種委員会へ就任の見直し

愛西市議会では、議会活性化協議会の中で「審議会等へは、法律等により議会議員が指定されている場合を除き、原則参画しない」決定をしている。当市議会でも、こうした事例を参考にし、見直しを始めたところである。

視察先 愛知県弥富市

目的 議会の災害対応

弥富市議会では、災害時の議会の対応を、議会改革協議会で協議している。臨時議会開会に備え、各常任委員長が議員の安否確認をすることなどを考えている。災害時、議員として何が出来るかを考えるいい機会となった。

平成25年第7回（11月）定例会 賛否の公表

○=賛成 ●=反対 欠=欠席 ー=議長職（議長は採決に加わりません）

議 案 名		議決 年月日	採決結果	公明党 瀬戸内市議員		日本共産党 瀬戸内市議員		せとうち クラブ		瀬戸内市民の会					改革			（無会派）					賛 成	反 対
				河 本 裕 志	高 間 直 美	島 津 幸 枝	厚 東 晃 央	石 原 芳 高	中 村 勝 行	平 原 順 二	馬 場 政 教	原 野 健 一	竹 原 幹	川 野 泰 一	日 下 俊 子	廣 田 均	日 下 敏 久	小 谷 和 志	角 口 準 一	布 野 浩 子	森 俊 之	小 野 田 光		
議案第102号	瀬戸内市廃棄物の処理及び清掃 に関する条例の一部を改正する ことについて	H25.12.20	原案可決	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	2
議案第118号	平成25年度瀬戸内市病院事業会 計補正予算（第4号）	H25.12.20	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	16	3
発議第5号	揮発油税及び地方道路税の消費 税非課税を求める意見書の提出 について	H25.12.20	否 決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	○	○	●	2	17
請願第1号 （継続審査分）	消費税の複数税率導入と新聞へ の軽減税率適用に関する請願	H25.12.20	採 択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	18	1
請願第2号	介護職員の処遇改善を求める請 願書	H25.12.20	趣旨採択	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	14	5
請願第3号	安全・安心の医療・介護の実現 と夜勤改善・大幅増員を求める 請願書	H25.12.20	趣旨採択	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	4

* 請願第2号および請願第3号については、各請願に対する賛否ではなく、「趣旨採択」に対する賛否です。